

「子どもの権利条例」で「子どもにやさしいまち」をどう創るか
—子どもの権利条約採択 30 年・批准 25 年を経て国の「子ども基本法」等を見据えて—

国連 NGO 子どもの権利条約総合研究所
公益社団法人子ども情報研究センター

本研究会は「子ども支援」をテーマに 2005 年から始まり、毎年 2 回開催してきました。

その間一貫して、子ども支援のために何が必要か、私たちには何ができるのか——そのアプローチを明らかにしていくことを目的として取り組んできました。

前回 7 月の子ども支援学研究会は、「いま『子ども基本法』とは何か？ ローカルの視点から考える—子どもの権利条約採択 30 年・批准 25 年を経て『コロナ』の中で—」でした。

これを踏まえ今回は、「子ども基本法」をローカルの視点から考える一環として、地方自治体における先進的な試みとして注目される、大阪府泉南市の子どもの権利条例（2012 年 10 月制定）に基づく「子どもにやさしいまちづくり」の取り組みを報告していただきます。

前回に続いて「地域・市民社会における子ども支援をどう進めるか」との視点から、私たちは私たちのローカルにおいて、「子どもの権利条例」で「子どもにやさしいまち」をどうつくっていくか——ともに考えていきたいとおもいます。

□日 時 2021 年 12 月 11 日(土) 13:30~16:30 (受付 13:00 から)

□会 場 HRC ビル 4 階研修室(裏面地図参照)およびオンライン配信

□テーマ 「子どもの権利条例」で「子どもにやさしいまち」をどう創るか

□内 容

基調報告 (仮題)「泉南市子どもの権利条例の 9 年にわたる取り組み」

古藤 典子 (泉南市人権推進部人権推進課)

指定討論 (1) 子どもの権利条例で創る子ども参加と学校

奥田 好幸 (泉南市立一丘小学校長)

(2) 市民から見た泉南市子どもの権利条例の 9 年

青木 桃子 (泉南市子どもの権利条例委員/泉南市民)

(3) 子どもの権利条例「泉南モデル」の意義と可能性

吉永 省三 (泉南市子どもの権利条例委員/千里金蘭大学)

質疑と討議 コーディネーター 浜田 進士 (子どもの権利条約総合研究所)

田中 文子 (子ども情報研究センター)

□参加方法・お申込み

①会場参加 定員 30 人：メール・電話・FAX にてお名前・電話番号・会員種別をお知らせ頂きお申込みください。

②オンライン参加 定員 100 人：

右の QR コードより Peatix イベントページにアクセスし、チケット申込み手続きにお進みください

※後日視聴も可能です。(チケット申込み手続き画面で【あとから視聴する】をお選びください)



□参加費 800 円 (子ども情報研究センター個人会員 600 円)

会場参加の方は当日受付でお支払いください

□申込締切 12 月 9 日 (木)

